

Vine



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI

特集1 **生まれ変わる山梨大学工学部**

特集2 **開講から1年!
生命環境学部生命工学科の
バイオ・メディカルデータサイエンス
特別コースってこんなトコ!**



[人物発掘] 山梨大学大学院総合研究部生命環境学域環境科学系(環境科学) 向井真那助教

[ゼミ紹介] 教育学部障害児教育講座 内藤研究室

[ぴっくあっぷレッスン] ヒトの体と病気

[クローズアップぴ〜ぶる] 野澤 太一(工学部土木環境工学科4年)

大山 陽菜乃(生命環境学部地域社会システム学科(観光政策科学特別コース)4年)

[サークル紹介] 山梨大学山岳部/国際交流サークルNICE/医学部男子バスケットボール部/医学部茶道部



生まれ変わる山梨大学工学部

2024年4月、山梨大学工学部は新しい体制へと生まれ変わります。



Q どうして新体制に変わるの？

A 新たな社会に貢献できる工学系人材を育成するため

工学部では「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を掲げ人材育成を行っていますが、これからの社会を牽引する工学系人材には自らの工学専門分野に精通するだけでなく工学専門分野全般を俯瞰できる能力が重要となります。そこで、主体的で多様な学修を促すために、また直面する諸課題に果敢に挑む工学系人材を輩出するために、「1学科複数コース」へ再編します。

学生の声



篠崎 亜実
SHINOZAKI Ami
応用化学科3年
(山梨県・甲府南高出身)

工学部は男の子の割合が多く、私も入学前は馴染めるのか不安に思っていました。そのため新体制の工学部では、女子枠ができることで、私のように不安に思う女の子が安心して入学できるようになってとても良いなと感じました。



神原 潤紀
SAKAKIBARA Junki
先端材料理工学科4年
(三重県・鈴鹿高専出身)

大学生活で勉強や研究の熱量を持ち続けるためには、専門分野への思い入れや信念がとても大切です。新体制の工学部では、工学基礎を学んだ後に専門コースの選択ができるため、現在各分野のイメージが湧きにくいと思っている学生も安心して進路選択ができると思います。

どう変わる？

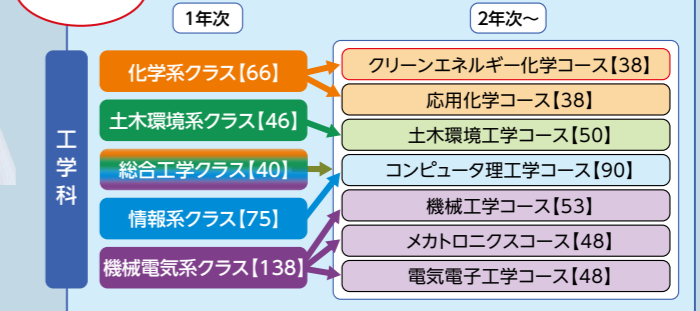
新体制



中山工学部長からポイント解説!

工学部長
中山 栄浩教授
NAKAYAMA Yoshihiro

新・工学部 工学部(1学科)[365]



[]は入学定員 []は募集人員(目安)

POINT

1

7学科→1学科複数コースに

主体的な学びをサポート

1年次は複数コースから構成されるクラスで工学基礎を体系的に、2年次以降はコースに分かれて工学専門分野を系統的に学ぶことができる体制とします。学修過程における興味の変遷に応じて、所属コースを主体的に変更する(転コース)ことができます。

POINT

2

グリーンエネルギー化学コースを新設

持続可能社会へ貢献

カーボンニュートラル社会の実現に貢献できる工学系人材を輩出するために、グリーンエネルギー化学コースを新設します。第一線で世界的に活躍しているグリーンエネルギー研究センターの教員から、体系的な教育と最先端の研究指導を受けることができます。

POINT

3

総合工学クラスを新設

1年後に専門分野を選択

2年次進級時に工学専門分野(コース)を選択する総合工学クラスを新設します。1年次は、工学基礎を体系的に学ぶとともに工学専門分野全般に関して俯瞰的に学修します。1年間の学修を通じて、2年次以降に進みたいコースをじっくりと考えることができます。

新入試

- 一括入試の導入による募集人員の弾力化
 - 成績上位者からコース希望を勘案して合格者を決定
 - 総定員(365人)の枠内で各コースの募集人員をコース等を踏まえて弾力的に設定
- 学校推薦型選抜I(一般枠・女子枠)
 - 調査書・志望理由書(女子枠)・小論文・面接等で総合評価(共通テスト不要)
 - 女子枠と一般枠の併願が可能
- 大学入学共通テストで「生物」が選択可能
 - 総合型選抜II、一般選抜(前期・後期)において、全てのコース等で「生物」が選択可能

新教育

- 工学基礎教育・デジタル教育の強化
 - コース・学部の枠を超えた、幅広い専門性を有する教員による授業を実施
 - 数理・DS・AI科目やPBL科目等の充実化
- 1年次はクラスに所属、2年次から専門分野ごとのコースに所属
 - 年次が進むにつれて専門を細分化
- 転コース制度等による進路選択の柔軟化
 - 2年次のコース配属時に条件を満たせば「配属コースの選択肢が拡大」、3年次進級時にも転コースが可能
- 特別教育プログラム(特P)の実施
 - 希望者は3年次進級時に専門性の高い特Pを履修可能(大学院修士課程までの一貫教育)

その他の変更点については、山梨大学ホームページをご確認ください。

再編については文部科学省の審査で8月に正式決定します。構想は、現時点での予定であり、今後変更する可能性があります。

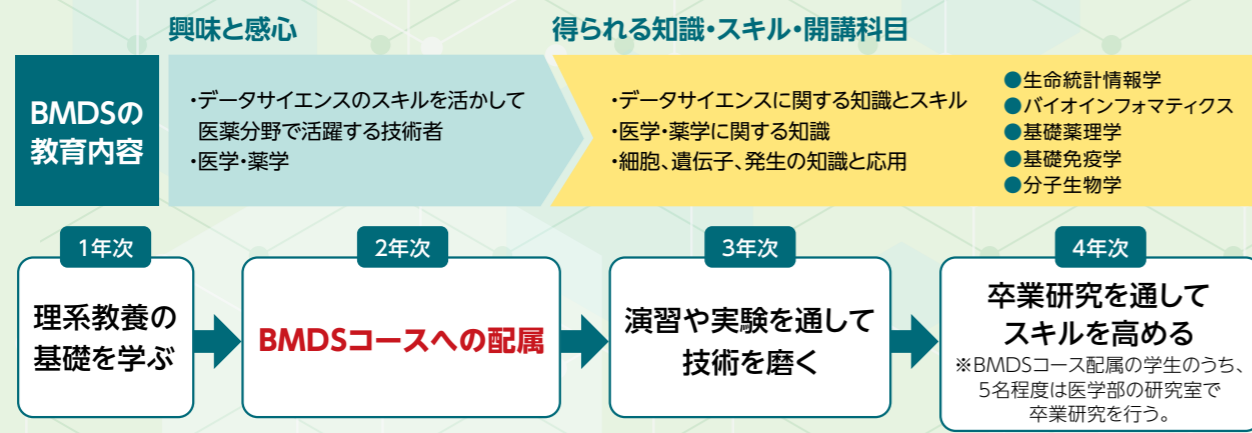
【お問い合わせ】山梨大学工学域支援課 TEL: 055(220)8403 Email:eng-admin@yamanashi.ac.jp



開講から1年! 生命環境学部生命工学科の バイオ・メディカルデータサイエンス 特別コースってこんなトコ!



令和4年度に設置された「バイオ・メディカルデータサイエンス特別コース」(以下、BMDSコース)は、医学・薬学の基礎知識をもちデータサイエンスのスキルを身に付けた生命科学系専門職業人の養成を目的に誕生したコースで、生命科学・医学・薬学分野における数理・データサイエンス教育を学ぶことができます。



基礎免疫学は、先生の講義のほかに、学生発表の時間が多く設けられていて、プレゼンテーション力も身に付くよ!

基礎薬理学は、薬が体にどういふふう作用するのか、そのメカニズムをわかりやすく教えてくれるよ!

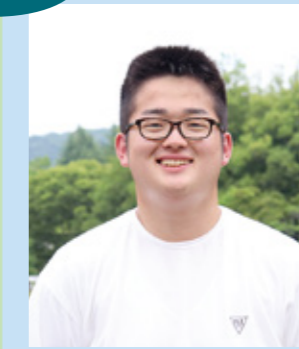
学生の声



生物が好きな人にはオススメのコース!

市川 美空
ICHIKAWA Miku
(山梨県・甲府昭和高出身)

高校生の時から生物が好きで、大学でも好きなことを深めたいと思い進学しました。学んでいくうちに微生物に興味をわき、さらに医学・薬学の分野、データサイエンスにもとても興味を持ちました。このコースは生命工学科の先生だけでなく、医学部の先生方からも授業を受けられることが魅力で、より医学的な観点から理解を深めることができるので、学んでいてとても面白いと感じます。



データサイエンスと医療の分野が学べる!

長田 健吾
OSADA Kengo
(山梨県・駿台甲府高出身)

私たちの代からこのBMDSコースが始まると知り、地元の山梨で興味があったデータサイエンスや医療系の分野を学ぶことができることに魅力を感じ、このコースを希望しました。今は、生命科学・医学のデータ解析基礎の授業がとても面白いです。この授業は3年生から始まる実験を実際に行ったときに必要な知識を身に付けることができます。まだまだ分からないことが多く、もっと深く学び、専門的な知識を得たいので、将来は大学院に進みたいのです。

授業風景



学生実験(分子生物学実験)

生命工学科ではBMDSコースも含め全ての学生が3年次に学生実験を行います。実験は、化学実験・生化学実験・微生物学実験・分子生物学実験・細胞生物学実験・発酵工学実験の6分野あります。4年次になると生命工学科の各研究室に配属になり、1年間卒業研究を行います。また、BMDSコースの学生は医学部の基礎系の研究室で卒業研究を行うこともできます。



教員からのメッセージ



幸田 尚 教授
KODA Takashi

生命工学科では、製薬・食品関連の企業へ就職を希望する学生や、不妊治療に関わる生殖補助医療の現場で活躍する胚培養士を目指す学生が多いことから、2022年度にBMDSコースを開設しました。

このコースでは、医学部の先生方による基礎医学の授業のほか、近年、生命科学・生命工学の分野で必要となっている、DNAの配列情報をはじめとした膨大なデータをコンピュータを駆使して解析する、データサイエンスのスキルを身に付ける実践的な授業や実習も開講しています。基礎的な生命科学・生命工学を学んだ上で、基礎医学やデータサイエンスのスキルを身に付けることができる点がBMDSコースの魅力です。

将来こんな分野で活躍できます!

■有用物質生産、食品生産・加工などの分野の技術者・研究者になる。

- ◎食品系製造業(食料、飲料、醸造等)
- ◎化学系製造業(医薬、化粧品、香料など)
- ◎医療系産業(機器、分析など)
- ◎不妊治療施設・クリニック(胚培養士など)
- ◎環境産業(廃水処理、環境分析)
- ◎農業関係法人(JAなど)
- ◎学術・研究機関
- ◎地方公務員
- ◎国家公務員

人物 発掘

山梨大学大学院総合研究部
生命環境学域環境科学系(環境科学)

向井真那助教

MUKAI Mana

太陽が大好き!日差しを浴びて 真黒に日焼けしていた少女時代

神戸で幼少期を過ごし、父の仕事の都合により、小学校に上がるタイミングで名古屋市に移りました。真夏に生まれたからでしょうか、小さい頃から家の中よりも外で遊ぶのが好きで、いつも真っ黒に日焼けしていました。

中学生の頃は陸上部で、種目は長距離でした。名古屋市の代表として県大会にも出場しました。高校ではバドミントン部に入りました。よい結果は残せませんでしたが、部活は楽しかったですし、バドミントンも好きなので、今も山梨大学で教職員のバドミントン部に参加させてもらっています。

森林の勉強と 農業系のサークル、 それぞれに懸命に向き合った 4年間

高校卒業後は京都大学農学部に進みました。農学部を選んだのは、フィールドワークへの憧れからです。高校までの勉強と違い、現場を実際に見られるとい

うことが楽しみでした。また、小さい頃からアレルギーがあり、食べる物に注意してきたこともあって、日常的に食べている農産物が、どんな場所で、どんな人たちによって、どんな風に作られているのかということにも興味がありました。それで農業系の学科を第一希望にしていたのですが、合格したのは第二希望の森林科学科でした。興味がなかったわけではありませんが、当初は「あれ?」という感じ。ところが学び始めてみると、森林のダイナミックさが心に沁みたといい、自然の悠久の営みを感じられるところに、どんどん魅了されていきました。

一方で、農業の現場を見たい気持ちも強かったので、全国各地の農家を訪れて、農作業を体験するサークルに入りました。田植えや野菜の植え付け、果物の収穫など、多くの体験をさせてもらいました。そのような農作業の手伝いをするだけでなく、ごはんを食べながら農家の方のお話をじっくり聞くという体験ができ、農業という仕事への理解が深まりました。サークル仲間には、農家になりたい、田舎で暮らしたい、などといった強い思

生物多様性が高い森林に着目し、物質循環の観点からさまざまな環境で森林生態系が成り立つ仕組みを研究している
向井真那助教。
「人生経験も、研究者としての道のりも浅くて…」と、謙遜しながらも、「つひとつひの質問に、ゆつくりと言葉を選びながら真摯に答えてくださいました。」

いを持った人がたくさんいて、大学を卒業した今でもそんな仲間から刺激を受けています。それに、農家の方と触れ合いその思いを感じていると、例えばスーパーの店頭で並んでいる作物に対しても、いろいろなプロセスを経て、多くの人の思いを乗せてここに並んでいるんだと思うようになるんです。都会で育ち、土に触れる機会のないまま育った私にとって、とても貴重な経験であり、学びでした。

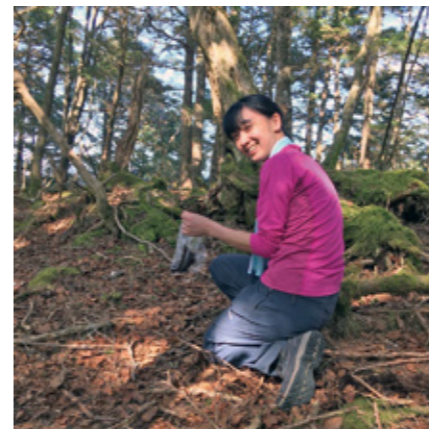
専門は森林生態学

森林科学には、森林から産出される木材などに関する研究や、景観や防災に関する研究など、幅広い研究分野があります。私は、森林生態系が成り立つ仕組みを知りたいという思いで、特に授業で感銘を受けた北山兼弘(きたやまかねひろ)先生の研究室に入りました。『森林生態学を研究するには、まずは原生林で森が成立している仕組みを知ることがその第一歩になる』が北山先生の方針で、学部生の段階から原生林で研究活動をさせてもらえる研究室でした。マレーシアのボルネオ島で卒業研究をされていた先輩方

もいらっやいました。私は国内を希望し、鹿児島県の屋久島に泊まり込んで調査と研究をしました。それが想像していた以上におもしろくて…。このときの体験が、現在まで続く私の研究の原点になりました。

日本全国の森林を回り、 物質循環の仕組みを研究

学部時代から一貫して取り組んでいる研究テーマは、森林の物質循環です。人間が食べ物から栄養を摂取して生きているように、森林も土から栄養を摂取しています。そこでは、土から栄養を摂取して成長した樹木がやがて葉を落とし、

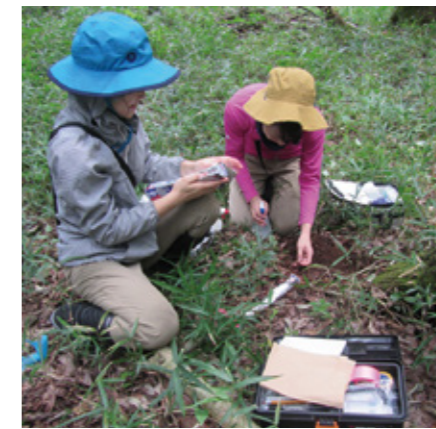


屋久島で採取した土のサンプル

それが土の中で分解されて再び樹木の栄養となるという栄養の循環が見られます。さらに、土の中には微生物などいろいろな生き物がいて、樹木はそれらと栄養を取り合っています。しかも、樹木の場合一度根を張ったらそこで生きていくしかないのに、寿命はとても長いです。例えば屋久島の屋久杉は樹齢数千年ともいわれおり、そこには生きるためのさまざまな戦略があるはず。私はそのような樹木の生きる工夫について知りたくて、樹木と土壌の関係が環境によってどのように変わっていくかといったことを、日本各地の森林を回って研究しています。

具体的には、現場へ行って森林を直接観察したり、土や根や葉を採取してきて分析したり…。木は根から物質を出して根の周囲の土壌環境を変化させ、土壌からの栄養を獲得するという工夫をしているので、実際の森林で根から何が出ているのかを調べたりもします。

日本は、国土の約7割を森林が占める国です。林業の担い手不足が深刻化するなか、その森林をどのように管理維持し、活用していくかということは、今後ますます大きな課題になっていくでしょう。私としては、そうした施策を考える際に必要になる科学的知見を増やすことが、研究者の役割であり務めだと考えていて、山梨大学に来てから原生林だけでなく人工林に関する研究も始めました。山梨には古くから人の手が入ってきた森が多く、これは人々にとって森林が非常に身近な存在だったということだと思います。とても興味深いですね。



フィールドワークで、森林の土壌から根を掘り出している

休日には山歩きを楽しむ

休日は、勉強を兼ねて山へ行くことが多いです。この辺りの森には広葉樹が多いので、森の中も明るくて気持ちがいいです。知らない植物と出会うたびに樹木図鑑で調べているとなかなか前に進めないのが悩みですが、木々を観察しながら登山道を歩くのは楽しく、頂上からの景色も格別です。実はまだ富士山には登ったことがなく、せっかく山梨に来たのでいつか登ってみたいと思っています。

私の宝物 | 25年以上一緒に歩んできた時計



小学校に上がるタイミングで神戸から名古屋へ引っ越したのですが、その時に、当時習っていたピアノの先生から銭別にといただきました。かわいらしいデザインが気に入って、以来、ずっと自分の部屋に置いています。大学に進学して京都で一人暮らしを始めたときも、山梨に来てからも、変わらずそばで約25年、私に時間を教えてくれています。

「他人と比べてもしょうがないでしょ」
進路に迷う私に、恩師がかけてくれた言葉です。
以来、自分を持って生きることを大切にしてきました。
”みんな”の動向が気になったり、
”誰か”の言動で気持ちが揺らいだりしがちですが、
学生のみなさんには、もっと自分を信じて、
思ったことをやり続けてほしいなと思っています。



【研究分野】 森林生態学
【学位】 博士(農学) 京都大学
【略歴】
2014年 京都大学農学部卒業
2019年 京都大学大学院農学研究科卒業
2020年 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 特別研究員
2021年 山梨大学大学院総合研究部生命環境学域 環境科学系(環境科学) 助教

皆さんは「少年院」と聞いて、どのようなイメージをもちますか？少年院は、家庭裁判所での決定（審判）により送致された非行少年が矯正教育を受ける「24時間体制の全寮制学校」ともいえる法務省所管の教育施設です。

私は現在、共同研究者の先生と共に毎月3か所の少年院を訪れ、多様な発達課題・困難を有する少年の面接をしています。面接時間の多くは少年が語ります。少年の不安・ストレスの原因を丁寧に可視化していく過程で自己理解が進み、安心感に繋がること、本人の発達課題の解決策を共に探ることを大切にしています。

少年院在院の少年は加害者ですが、逮捕以前の家庭貧困・虐待・放置・不就学等のために愛着形成や他者との信頼関係を欠き、自立や社会適応の困難を抱えています。少年のなかには知的障害・発達障害等の診断・判定を有する方もいますが、障害が非行の原因ではなく、極めて不十分な養育環境や学習空白等に伴う発達困難の影響が多分にあります。

少年院では安定した基礎的生活環境の保障（住まい、食事、衣服、睡眠、入浴、生活リズム、健康管理・医療等）や教官の丁寧な関わりが行われています。少年のなかには学校に居場所がなかったこと、暴れたり非行に走ったりする自分に向き合い「正しく教えてほしかった」等の想いを語ることも少なくありません。少年の発達には学校教育と生活教育の両面が

ゼミ紹介

教育学部 障害児教育講座 内藤研究室



多様な
特別ニーズを
有する子どもの
発達支援を
考える

山梨大学教育学部障害児教育講座
准教授

内藤 千尋
NAITOH Chihiko

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。白梅学園大学助教、松本大学教育学部専任講師を経て、2021年より現職。

必要で、学校教育における早期介入支援に加え、少年院でも学校教育の導入と出院後の復学・進学支援の充実が課題です。

そのほか、国際的な共同研究として15年ほど「北欧福祉国家と子ども・若者の特別ケア」に取り組んでいます（代表：高橋智・日本大学教授／東京学芸大学名誉教授）。これまでに北欧5か国の中央省庁・大学・研究所・特別学校・成人教育・高校・基礎学校・就学前学校・大学病院・子ども病院・障害当事者組織・少年院・刑務所等を150か所ほど調査訪問し、子ども・若者の特別ケアに関して当事者・関係者との協議を行い、そこで多くの共同研究者・友人と出会うことができました。

研究室・ゼミでは、上記のような様々な教育の場において多様な特別ニーズを有する子どもの「声」・支援ニーズに基づく教育・発達支援について検討しています。皆さんもぜひ留学・海外研修等の機会を活用して、海外の学校教育・特別教育にも触れてみてください。



ゼミの様子

本人・当事者の「声」・支援ニーズから教育・発達支援を創造する。



スウェーデン・Alma国民大学高次脳機能障害コースの当事者学生へのインタビュー（2023年3月）



ヒトの体と病気

この講義は、山梨大学医学部附属病院やその他国内・海外の病院で臨床の一線に立っている医師の先生方を講師としてお招きし、医学部の1年生に4月から7月までの期間、実際の患者さんの症例を示してどのように診察・治療が行われたかを勉強してもらうための講義です。

医学の学習は解剖学、生理学、生化学のような基礎系の講義を通して、ヒトの体がどのような構造をしているのか、体の外から受ける環境や内部の変化に関わらず、体の状態がどのように一定に保たれているかを理解することから始まります。さらに、病理学や微生物学を通して、病気の原因となる細菌・ウイルスに対する知識を身に付け、また、病気になってしまった時にヒトの



授業の様子



学生から疑問に感じたことについて質問

ぴくくあつぷ
レッスン 35
授業のヒトコマ



担当教員

医学部
解剖学細胞生物学
教授

篠原 良章

SHINOHARA Yoshiaki

体がどのような状態になるのか、についても勉強します。しかし、基礎系教科で獲得できる医学知識がどのように実地の診断・治療に役立つかが見えにくいので、学生の意欲が高まらないことが指摘されていました。

そこで、入学した学生にいち早く実際の医療現場でどのような診断や治療が行われているか、医師の先生のお話を通して触れてもらうことをこの講義の目標としています。例えば、本学附属病院ではロボット手術が盛んに行われています。手術中のビデオを観てもらったことで、医療ロボットがどんな場面で使われ、どのような利点があるのか、イメージがつかみやすくなります。また、現在でも治療しにくい疾患について最新の知識が得られることで、基礎医学や臨床研究へのモチベーションが高まることも期待されます。



ロボット手術（ダヴィンチ）

さらに、講義の最終回では、架空の臨床例を与え、学生が医師、患者、家族役にわかれて外来診療の寸劇を演じ、より現実に近い形で疾患と向き合ってもらおうことを目指しています。

講義後はどのような意見でも良いので、疑問に感じたことについて質問をもらう時間を設けています。それに加え臨床医が関連する課題を講義後に1・2題与え、レポートを提出してもらっています。こうして、ただ講師の話聞くだけの一方通行の講義とならないように工夫し、医学を学習していく上で医学生のモチベーションを高めようとしています。

山梨大学を選んだ理由は?

小さい頃から防災に興味があり、地域の防災訓練に参加していました。

小学4年生の時に経験した東日本大震災がきっかけで、防災無線の免許を取得し、「防災についてもっと学びたい」と思うようになりました。

地元が山梨ということもあり、一番身近な山梨大学で防災や災害について学ぶことを知り、工学部土木環境工学科に進学しようと決めました。

大学に入ってみてどうでしたか?

防災の研究室に所属し、自分の興味にぴったりな耐震設計や地震被害想定等の研究が学べ、好きなことを追求できる環境が整っていることがとても良いです。

学びたかった防災以外にも、コンクリートやプログラミングについて学ぶことができ、新しい知識を増やしていることに面白さを感じています。



研究室の仲間たち



高校時代の部活動



サークルのイベント。みんなで記念写真



クライアントのニーズに応え、形にできる建設コンサルタントを目指します

工学部土木環境工学科4年

野澤 太一
(山梨県出身)

NOZAWA Taichi

今、一番頑張っていることはなんですか?

プログラミングの勉強を頑張っています。

今は、興味がある防災に結び付けられるように、震度がわかっている地点の地震観測値をプログラミングに入力すると、震度がわからない地点の震度を予測できるような勉強をしています。

参考書を読んで基礎から勉強していますが、専門用語を理解することがとても難しく、先生や先輩のすごさを改めて感じます。

プログラミングの知識を身につけていくために、先生や先輩方に聞きながら実際に開発をしていきたいです。

部活動、課外活動はなにかしていますか?

バレーボールサークルに入っています。バレーボールは、中学生の時からやっけていて、休みなく一生懸命練習し、高校時代には関東大会に出場しました。大学

では、コロナ禍で試合やイベントがあまりできませんでしたが、2年生の時には、他大学との大会に出場し、3年生の時はサークル長を務めました。

今後の進路について教えてください

4月から建設コンサルタントの仕事に就きます。

建設コンサルタントは、建設技術を中心とした開発・防災等に関して、調査・企画・設計を中心に行う仕事です。

クライアントと直接関わり、ニーズに応え、橋や道路など目に見えるものができることが面白いと思い、建設コンサルタントの仕事を選びました。

バレーボール部で培った経験と体力を活かし、まずは社会人として環境に慣れるところから頑張ります。

受験生にアドバイスをお願いします!

「好きなことを勉強する」ということが一番大事です。

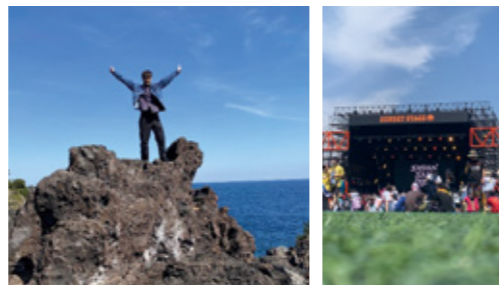
趣味や、好きなことから将来やりたいことを見つけ、そこにあった学科に入るのが良いと思います。

受験勉強は、部活動と勉強との両立で焦りがありましたが、過去問をひたすら解いて、自分の苦手な分野や傾向を把握し、その部分を基礎から勉強し直しました。

趣味や好きなことで息抜きをしながら、最後まで諦めず頑張ってください!



友人と名古屋旅行へ



旅行で行った伊東(静岡県)での1枚



趣味のフェスに参加

研究活動やサークル、プライベートにと輝く山梨大生を紹介します。

close-up people

クローズアップぴ〜ぶる

山梨大学を選んだ理由は?

観光政策科学特別コースという珍しいコースがあり、新しいことに挑戦してみたい気持ちがあったため、興味を持ちました。立地の良さにも惹かれ、進学したいと思うようになりました。

観光政策科学特別コースに進んでみてどうでしたか?

ホテル業界や観光産業の方のお話を直接聞く機会がたくさんあり、とても勉強になりました。また、出張先の伊豆からオンライン授業をしている先生もいて、コロナ禍を経て増えてきたワーケーション*の需要についても学ぶことができました。

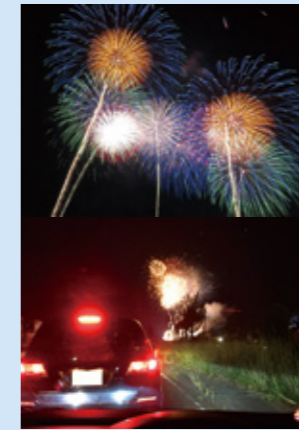
*Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、職場や自宅とは異なる場所で休暇を楽しみながら仕事をすること。

印象に残っている授業はなんですか?

同じコースの皆さんと観光地に行く実習がとても楽しかったです。授業で習ったことを活かして観光プランやまちづくりのプランを考えることで、知識



観光実習(城ヶ崎海岸)



神明の花火大会と渋滞の様子



観光実習(河口湖)

がより身につきました。

この実習は1年に1回ずつあり、年々プランの精度が上がっていくのが見えるのも自分自身の成長が感じられて嬉しかったです。

研究室では何を学んでいますか?

私が所属する宮川研究室では、「数理的アプローチによる都市・地域の問題解決」について研究しています。なんだかとても難しそうな研究に見えますが、例えば私が今卒業研究として取り組んでいるテーマは「花火大会時の効果的な駐車場利用について」です。山梨県市川三郷町では毎年8月7日に大きな花火大会があり、例年県内外から約20万人が訪れます。当然20万人分の駐車場はなく、毎年何kmにも渡って渋滞が起ってしまいます。研究では、駐車場を事前に予約する制度の導入や民家駐車場の貸出について、他の花火大会の事例と照らし合わせながら解決に向けての検討を進めています。このようにデータを用いて地域の課題を解決するにはどうしたらよいか研究しています。



宮川研究室

サークルや課外活動などはやっていますか?



生協学生委員会で活動の様子

生協学生委員会に入っています。名前だけ聞くと堅い印象を受けがちですが、入学生に配布する冊子の作成やスポーツ大会の運営、生協アンケート回収のための広報など、活動内容はさまざまです。4年生なので、本格的な活動は後輩に引き継ぎ、今はたまにお手伝いをしています。大変なこともありましたが、友達と一緒に楽しみながら活動することができました。大学生活の中でとても大きな財産になったと思います。

受験生にアドバイスをお願いします!

模試の判定結果が良くなくても、「伸びしろがある」と思って、ポジティブに切り替えることが大切です。「絶対にこの大学に入るんだ!」という気持ちで勉強を続けてください!



進学を機に東京から山梨へ統計データを用いた地域の課題解決について研究しています

生命環境学部地域社会システム学科(観光政策科学特別コース)4年

大山 陽菜乃
(東京都出身)

OHYAMA Hinano

Mountaineering Club ◎山梨大学山岳部

クライミング&富士山登山も!
見たこともない絶景を体感しよう

山岳部では、登山とクライミングを中心に活動しています!水曜の夜にはボルダリング、土日の都合がいい日には登山(時々クライミング)に行っています。参加は自由で、一人ひとりの好きなタイミングで活動しています!

部内では冬山登山、ロッククライミング、縦走、数日にわたる長期登山なども行っています。また、高山植物の保護活動も依頼されることがあり、絶滅危惧種の調査も行ってい

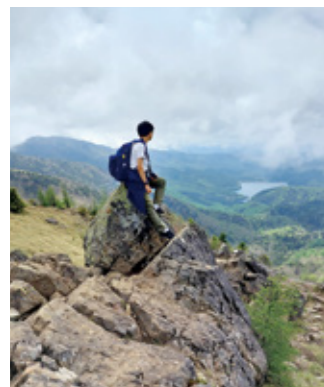
ます。

部員の大半は高校まで登山未経験で、山に登る理由も様々です。山が好きだから登る、運動不足を解消するために登る、映える写真を撮りたいから登る、面白そうだから登るなど、いろいろな目的の人がいます。登山のみを行う人、クライミングのみを行う人、両方を楽しむ人もいます。

また、この部は1949年から続いており、卒業生も多く、様々なつながり

があります。ボルダリング日本代表を決める大会や、クライミングのワールドカップのスタッフの経験を積むことができた部員もいますよ!

山梨大学は山々に囲まれており、こんなに恵まれた環境で活動することは他の大学ではなかなかできません。登山の際には、頂上から様々



大菩薩峠



クライミング

【基本Data】
◎部員数：32人
◎主な活動場所：部室、山、クライミングジム
◎活動日：毎週水曜日、土日祝日(不定期)
◎SNS公式アカウント
Twitter: @YUAC2020
Instagram: @yuac_sc



地藏岳登山

な角度の美しい富士山を眺めることができ、夏休みには実際に富士山にも登ることが出来ます。さらに部費からの援助もあり、必要な道具も貸し出せるものがあります。

山ばかりの山梨県にある山岳部。参加は自由!兼部も自由!初心者歓迎です!

富士山に登りたい人、ボルダリングをしたい人など、ぜひ足を運んでみてください!

Men's basketball Club ◎医学部男子バスケットボール部

目標「東医体優勝!」
一緒に目指しませんか?

今シーズンの男子バスケットボール部は東医体優勝を目標に掲げ、日々活動を行っています。

東医体は、東日本のほとんどの医学部が参加する大規模なスポーツの大会です。

コロナ禍の影響で対外試合規制期間中は、他校との練習試合さえ実現が難しく、公式戦も山梨県内の社会人リーグに参加するのみで、練習の成果を発揮する機会が少なく悔しい思いをする日々でした。

今シーズンからは、医療系大学同士の公式戦が解禁され、部員一同、従来の大会が開催されることの有り難さを再確認し、目標に向け活動に打ち込んでいます。

直近の大会結果は、2022年度関東医科大学秋大会でベスト8、2023年関東医科大学春大会で準優勝と目標の東医体優勝に向けて、徐々にチームの調子も上がってきています。コロナ禍で悔しい思いをしながらも、先輩方がしっかりとチームの基礎作りをしてくださった



支えてくれるマネージャーさん

おかげで出せた結果だと確信しています。

今年は8月上旬に長野県で東医体が開催される予定です。OB・OGの方々の応援のおかげでチームの活動が支えられているのだと日々実感し、今後も皆様に応援していただけるような部にしていきたいと思ひます。



春大会集合写真

【基本Data】
◎部員数：プレーヤー29名
マネージャー8名
◎主な活動場所：医学部体育館
地域の体育館
◎活動日：毎週月・水・金曜日
◎SNS公式アカウント
Twitter: @yamanashiMB
Instagram: @yamanashi_danbasu

全体で行える練習回数を考えると、残り短い期間ですが、目標の東医体で優勝をするためにしっかり準備を行っていきます。

SNS等でも活動経過を報告していますので、ぜひチェックしてみてください!

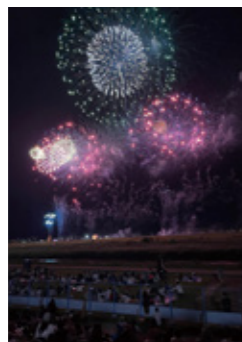
NICE ◎山梨大学国際交流サークル NICE

留学生と友達に!
世界各国の文化を体験しよう

山梨大学には、留学生や日本人学生、文化を愛する人々が世界中から集まる特別な場所があります。それが、国際交流サークル「NICE(ナイス)」です。

NICEは、日本、ベトナム、中国、ウクライナ、マレーシアなど、様々な国から来たメンバーで構成されています。このサークルでは、言語や文化の壁を越え、友情を育みながらお互いの国の素晴らしさを共有することを目指しています。

私たちの活動は多岐にわたりますが、山梨県にある有名な名所を訪ねることが一つの醍醐味です。例えば、昇仙峡や河口湖などの美しい渓谷を訪ねると、メンバー全員が自



花火大会体験



英語と日本語を交えた交流会

然の息吹を感じながら共に時間を過ごすことができます。また、花火大会の季節には、夜空に広がる美しい花火と一緒に楽しむこともあります。

NICEでは、定期的に国際交流イベントも開催しています。異文化の祝祭や伝統的な行事を体験することで、お互いの文化をより深く理解し、尊重することができます。さらに、自身の国の特産品や料理を持ち寄ることで、

【基本Data】
◎部員数：12人
◎主な活動場所：不定
◎活動日：毎月第3土曜日
◎SNS公式アカウント：なし



交流会の様子

世界各国の料理を楽しむこともできます。

NICEは、国境を越えた友情や絆を築く素晴らしい場所です。私たちは、留学生や文化交流に興味がある全ての方を歓迎しています。一緒に山梨県の魅力を発見し、多様な文化に触れながら、人々との交流を楽しみましょう!

もしご興味がありましたら、ぜひNICEに参加してみてください。私たちはあなたの参加を心からお待ちしています!

Tea ceremony Club ◎医学部茶道部

未経験者大歓迎!
私たちと一緒にゆったりお茶しませんか?



ご指導いただいている鶴田宗慶先生との集合写真

私たち茶道部の推しポイントを3つ紹介します!

1つ目は、「兼部がしやすい」ことです。活動日は週に1回、土曜日の夕方なので他部活との両立がしやすいです。兼部先でハードな練習をこなしている部員も多いですが、週末の夕方は和室でお菓子を食べて、お茶を飲んでゆったりと過ごしています。

2つ目は、「お状がもらえる」ことです。外部の先生にご指導いただいているので、卒業



学園祭でのお茶会の様子

の際には、「私は茶道ができます!」という免許のようなものがもらえます。これは履歴

書にも書けるような立派なものですので、茶道部に入ればもれなく資格を増やすことができます。

3つ目は、「着物が着られる」ことです。学園祭などのイベントで着ることが多いですが、すべて自分たちで着付けします。着付けを学ぶことはもちろん、着物を着ること自体、今後の人生でもなかなか無いことだと思うので、そんな貴重な体験を大学生のうちに経験できることも茶道部の良さだと感じています。

【基本Data】
◎部員数：70人
◎主な活動場所：福利厚生棟1F&2F和室
◎活動日：毎週土曜日
◎SNS公式アカウント
Twitter: @yigaku_sadou
Instagram: @yamanashi_med_sadou

茶道部の推しポイントを3つ紹介しましたが、紹介した以外にも、茶道部では休みの日にBBQやスノボ、お茶碗づくりなど外へ出かけることも多く、茶道以外でもたくさんの思い出を作ることができます。

部員同士仲がよく、とても居心地のいい部活だと感じています。

部員のほとんどが大学から茶道を始めているので、未経験者の方もぜひ気軽にお越しください!



普段の部活動の様子

NEWS & TOPICS 1

「令和5年度女性のための復職とステップアップセミナー」開講!

本学では、結婚・出産・育児などで一度仕事を離れた女性を対象に、自身を見つめ直し、自分目線でこれからの「自分自身のこと」、「家庭のこと」、「働くこと」について考え、一人ひとりのステップアップを



サポートするリカレント教育プログラム「女性のための復職とステップアップセミナー」を8月より開講します。

本プログラムは、厚生労働省「労働者等のキャリア形成・生産性向上に資する教育訓練開発プロジェクト事業」より継続している事業で、これまで約50名の修了生を送り出してきました。

今年も新たに本学ならではの講義を取り入れ、「自分自身」や「家庭」と両立しながら、「働くこと」への不安を解消し、一歩を踏み出しやすくなるようなプログラムも実施していきます。



NEWS & TOPICS 2

令和5年度山梨大学・読売新聞連続市民講座「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」

本学では令和5年度も読売新聞甲府支局との共催で、「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」と題した連続市民講座を開催します。

毎月第3土曜日(11月のみ第2土曜日。8月及び1月は休講)、本学の教員が専門の分野を図解等用いてわかりやすく開催します。どなたでもご参加いただけます。

【日時・場所】
開催日：スケジュール一覧表参照
時間：13:30～15:00(開場13:00)
受講料：無料
【お問い合わせ先】
山梨大学教務企画課連続市民講座担当
電話:055-220-8043 FAX:055-220-8796
メール:koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

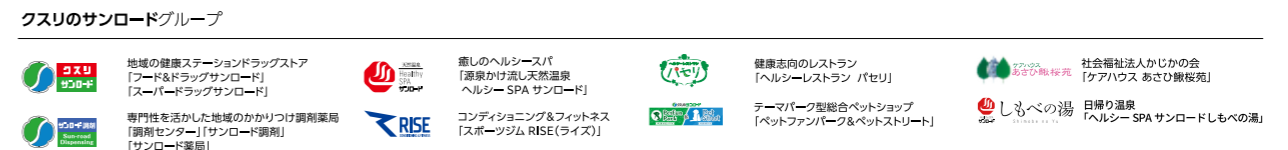
【スケジュール一覧表】		(令和5年7月時点)		
	開催日	講義タイトル	所属	講師
第5回	2023年 9月16日(土)	仮想空間のための技術 ～CG/VR・シミュレーション・AIで生活を豊かに～	工学部	安藤英俊
第6回	2023年 10月21日(土)	宇宙に学ぶ新エネルギー材料創製	工学部	佐藤哲也
第7回	2023年 11月11日(土)	古代の富士山噴火と地域社会 ～貞観の大噴火を中心に～	教育学部	大隅清陽
第8回	2023年 12月16日(土)	男性にもある更年期障害	医学部	澤田智史
第9回	2024年 2月17日(土)	海の微生物がつくる雲 ～気候と生物の相互作用	生命環境学部	松本 潔
第10回	2024年 3月16日(土)	こころを癒すカウンセリング心理学の世界 ～援助者の効果的なコミュニケーション～	教育学部	田中健史朗

※申込方法や詳細は、大学HPでご確認ください。
※今後の状況により、開催方法等変更となる場合があります。



健康トータルサポート
健康で快適な暮らしの創造

暮らしを照らし続ける太陽のように、地域の皆さまの美容と健康、
明るく輝く未来を“クスリのサンロード”が守り続けます。



経済産業省認定 地域未来牽引企業
株式会社
クスリのサンロード

〒400-0045 山梨県甲府市後屋町 452
TEL:055-243-1550(代表) FAX:055-243-1551
http://kusurinosunroad.com/



広報誌「Vine」のアンケートにご協力ください!

山梨大学では、広報誌の充実を目指し、皆様のご意見を参考とさせていただきたく、アンケートのご協力をお願いいたします。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

※抽選で10名様に山梨大学のオリジナルグッズをプレゼントいたします。
※個人情報は厳重に管理し、他の目的、用途では使用いたしません。

アンケート回答締切：令和5年12月31日(日)



※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



山梨共立グループ採用募集中

無差別・平等の医療で地域のニーズに誠実にこたえるプロフェッショナルを養成します。

病院・職場見学やインターンシップも随時受付中！

医療職を目指す方は
採用サイトをチェック！

Check Here!

山梨共立グループの
働き方がここに！
recruitkyoritsu.com



5G時代を支える 通信用デバイスで明日を創る



住友電工
デバイス・イノベーション

SUMITOMO ELECTRIC DEVICE INNOVATIONS

山梨県中巨摩郡昭和町紙漣阿原1000
(本社:神奈川県横浜市栄区金井町1番地)

<http://www.sedi.co.jp/>

今号の表紙

生まれ変わる山梨大学工学部



2024年4月、本学工学部は新しい体制へと生まれ変わります。

今回の表紙イラストは、工学部入り口の時計塔をメインに、クリーンエネルギー・化学コース・燃料電池・データサイエンスなどといった学びを通して成長する学生の姿と、山梨大学に吹く新しい風を表現しています。

今回のVineもぜひ楽しんでご覧ください。できれば幸いです。(広報企画室)

[表紙イラスト制作]
ぐらいいん屋(鈴木律)
✉ ritsukomobo@gmail.com

有料広告を募集します。 山梨大学広報誌Vineに「広告」を出しませんか？

広報Vineは、毎年2回、全国の教育機関等に配布しています。ぜひ、貴社の広告、PR活動にお役立てください。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

山梨大学広報 **ヴァイン**

2023
vol.43
Summer



[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務企画部総務課広報企画室

☎ 055-220-8006 ✉ koho@yamanashi.ac.jp

